

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	京都文教大学				
取 組 名 称	文化コーディネーター養成プログラム				
取組学部等	人間学部文化人類学科				
申 請 区 分	教育方法の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A22191	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申請の分類	専門基礎	ICT		地域活性化	
キーワード	文化コーディネーター, 大学ミュージアム, 地域連携, 博物館学芸員, フィールドワーク				

<選定理由>

本取組は、京都地域が求める「文化コーディネーター」を養成することを目的とし、地域連携型の大学博物館「モノ・ひと・地域を活かす大学ミュージアム」を整備しながら新しい教育プログラムを展開するものとして高く評価できる。特に、文化人類学科の特性を活かし、博物館学芸員講座・社会調査士資格教育とフィールドワーク実習や地域密着型共同プロジェクトを接合させることは、「モノ」「ひと」「地域」に関わる諸能力を統合し新たな「社会的実践力」を培うという観点から見て、この取組の目的を達成することについて大きな意義を有するものである。また、大学がこの取組の意義を高く位置づけ、これまでの“特色GP”選定取組の実績と新たな課題を踏まえながら、今後の展開について学生の到達度や成長度を測定するシステムを含む具体的な計画を立てていることなど、取組の計画性・有効性についても高く評価できる。

ただし、「ヴァーチャル・ミュージアム」のコンテンツや展示方法など具体的構想については不明瞭な点も認められることから、改善が望まれる。取組実施に当たっては、このことに対応しつつ、着実に成果を上げることを期待する。

取組の概要

本取組は、文化資源・文化情報に関する総合的な情報知識力（Information literacy）・技術力（Technology）・企画推進力（Communication & Planning）をそなえた文化の専門家として地域や社会に貢献する「文化コーディネーター（Coordinator of Cultural Projects）」の養成を目的とした学科教育充実のためのプログラムである。

具体的には、地域連携型大学博物館「モノ・ひと・地域を活かす大学ミュージアム」を整備し、その活動をカリキュラムに組み込むことによって、本学がこれまでおこなってきた、博物館学芸員講座・社会調査士の資格教育：「モノ」（文化資源・社会文化情報）の発掘・保存・データ処理・発信の知識と技術をもった人材の育成、フィールドワーク実習：「ひと」のつながりのなかで課題を発見し問題を解決するコミュニケーション力と調査・分析力をそなえた人材の育成、地域密着型共同プロジェクト：「地域」とびこみ、地域の人びととともに地域の新しい価値を創造する企画推進の実践力をもつ人材の育成、という三つの教育プログラムをリンクさせる。それによって、モノ・ひと・地域を結びつけ地域の「文化力」を活性化させる総括的な力をもった文化の専門家としての「文化コーディネーター」を養成し、「文化コーディネーター養成プログラム」の修了認定をおこなう。

本プロジェクトの中核となる「モノ・ひと・地域を活かす大学ミュージアム」は、従来の研究・保管・展示型博物館や大学資産公開型の大学博物館ではなく、「ヴァーチャル・ミュージアム(Virtual Museum)」の構築と「モバイル・ミュージアム(Mobile Museum)」(移動博物館)の活動をとおして、ヴァーチャルとリアルの双方向的交流空間をつくりだすことによって、地域の「文化力」を結集し新たな価値を創造する仕組みである。「ヴァーチャル・ミュージアム」は、ICT(Internet Communication Technology)を利用して本学の学科ウェブ・サイト上に構築され、大学の文化資産、フィールドワーク実習による国外・国内調査地の社会文化情報、地域の伝統的文化・技術、地域住民がもつ文化資源等のデジタル情報化と内外への発信をおこなう。「モバイル・ミュージアム」は、地域の小中学校、福祉施設、文化諸団体、商店街等の要請に応じてテーマを設定し、当該施設もしくは本学サテライト・キャンパスにおいて展示企画やワークショップをおこなう活動である。こうした「モノ・ひと・地域を活かす大学ミュージアム」活動をとおして、地域の文化資本や社会関係資本を充実させ新たな地域文化の創造に寄与する人材を育成する。

本教育プログラムを実施するために、以下の三組織の連携体制を確立する。

- 1) 文化情報教育コミッティ：博物館学芸員課程教育担当者、社会調査士資格認定担当者およびフィールドワーク実習担当者から構成される教員組織
- 2) 文化コーディネーター養成プログラム支援チーム：教務課学芸員課程事務担当者とフィールドリサーチオフィス(地域連携事務局)担当者から構成される事務組織
- 3) 文化コーディネーター評価委員会：文化コーディネーター養成プログラムの評価をおこなう外部評価組織(第三者評価をおこなう学外者を含む)。